

5 かみのやまの食のブランド化プロジェクト 平成29年度フォローアップ

上山型温泉クアオルト事業費15,143千円

<状況：◎完了、○実施中（継続）、△次年度、×取組なし又は未定>

事業名 具体的取組	事業内容等	平成29年度 実施内容	スケジュール				第7次振興計画 大企業名・事業費	進捗状況	事業内容	平成29年度実績 問題点(未達成)及び次年度以降に向けた課題等	所管課 実施団体
			29年度	30年度	31年度	32年度以降					
1 上山産農産物の地域ブランド戦略の推進							観光物産宣伝事業費 1,821千円 果樹園芸産地形成事業費 8,935千円 ブランド化推進事業費 9,689千円 食育等推進事業費 9,590千円				
(1) 農産物等（サクランボ・ぶどう・西洋なし・紅干し柿・ワイン等）の消費宣伝	大消費地等での上山産特産品のプロモーションの実施	日本橋イベントスペース（東京）や仙台駅かみのやまフェア（仙台）における農産物のプロモーションを実施（観光課との連携）						○	◇東京、仙台、名古屋でのPRを実施 ◇和歌山県田辺市と合同で農産物をはじめとした特産品紹介事業を東京で実施	引き続き大消費地においてプロモーション活動を実施	農業夢づくり課 観光課 観光物産協会
	市場向けセールスの実施	関係団体によるセールスの実施（名古屋…ラ・フランス、その他）						○	名古屋において2箇所実施	効果的なセールス及びプロモーション活動を実施	農業夢づくり課 生産団体
	県外のホテル・レストラン等へのPR活動の実施	首都圏大型ホテルにおける上山農産物のプロモーション活動の実施（山形県と連携）						○	首都圏の飲食店及び農産物販売会社に対し、農産物の情報提供及び営業活動を実施	農産物の供給量及び時期を考慮したPR先及び方法の検討	農業夢づくり課 観光課 生産者
	生産者等の販促活動への支援	◇生産者団体等が実施する販促活動への補助金の交付 ◇共通の販促資材の販売・貸出し						○	◇販促活動4件/442千円を補助 ◇作製、販売、貸出しを実施	◇生産者団体等が実施する販促活動への支援 ◇共通の販促資材の販売・貸出し	農業夢づくり課
	市内向け消費宣伝の実施	◇ラ・フランスセレクションの開催 ◇市内イベント（ツール・ド・ラ・フランス大会等）でのPRの実施 ◇かみのやま温泉駅前でのプロモーション活動を実施						○	◇セレクション出品数70件 ◇ツール・ド・ラ・フランス大会と同会場で実施 ◇かみのやま温泉駅及び上山市役所での西洋なしのPR展示を実施	◇ラ・フランスセレクションの開催 ◇市内イベント（ツール・ド・ラ・フランス大会等）でのPRの実施 ◇市内施設でのプロモーション活動を実施	農業夢づくり課
	高品質な果物や野菜の生産の推進	◇ハウスや機械等の整備支援、新規作物・新品種の導入支援 ◇伝統野菜等、関係機関と連携した消費拡大事業の展開						○	◇園芸施設修繕11件/863千円を補助 ◇飲食店への紹介、販促の実施	◇ハウスや機械等の整備支援、新規作物・新品種の導入支援 ◇伝統野菜等、関係機関と連携した消費拡大事業の展開	農業夢づくり課 生産者
2 かみのやま食のマルシェの実施											
(1) 定期市、商業祭等での農産市の開催	定期市、商業祭等各種イベントでの農産市の開催	商業祭等での地元農産物の販売						○	定期市、商業祭等各種イベントでの農産市の開催	◇カミン閉店に伴う出展回数の減少 ◇たいらぐら会員の高齢化等により出展規模縮小 ◇定期市会場の再検討、会員の高齢化	農業夢づくり課 商工課 たいらぐら
(2) 食のまち歩き情報紙づくり	直売所や地産地消の店、特産の農産物を使った商品の紹介	商店街マップを市内各所やイベント等で配布・PRし、市街地への誘導を図り、まち歩きを推進する					商業活性化推進事業費 0千円	◎	商店街振興会等が作成した「食」を中心とする個店や逸品等を紹介する商店街マップを活用し、まち歩きを推進	新たなまち歩きマップを作成し、中心市街地の拠点施設と商店街が連携した活用によるまち歩きの推進	商工課
3 旅館での地元産農産物の活用拡大											
(1) 旅館での地産地消の拡大推進	◇旅館への農産物情報の提供 ◇旅館への発注・集荷・配達・精算等のシステムづくり	◇旅館への農産物情報の提供 ◇農家と旅館の意見交換等の場の設定					食育等推進事業費 9,590千円	○	◇農産物コーディネーターによる農産物の情報提供の実施 ◇枝豆、干し柿等の斡旋	生産者と旅館における供給量と需要量及び取引単価	農業夢づくり課 観光課
	地元農産物活用に向けたコーディネート機能	地産地消推進業務の委託						○	地産地消事業のJAへの委託	地産地消推進業務の委託	農業夢づくり課
	生産者と旅館、飲食店料理人間の交流会開催	取引を前提としたマッチングの機会を創設						○	農産物コーディネーターによる農産物の情報提供の実施	生産者と旅館における供給量と需要量及び取引単価	農業夢づくり課 温泉旅館
(2) クアオルト膳の充実	各旅館での地元農産物を活用した栄養のバランスに優れた食事メニューの開発・提供	◇意見交換会の開催、ノウハウの共有 ◇宿泊型新保健指導事業の実施による、カロリーと塩分に配慮した食事メニューの提供 ◇市役所食堂におけるクアオルトランチの提供 ◇料理人による研究会の立ち上げ						○	◇宿泊型新保健指導事業の実施により（5旅館受入）、管理栄養士が監修したカロリー・塩分に配慮した食事メニューを開発・提供 ◇市役所食堂におけるクアオルトランチの提供（5月～月1回） ◇宿泊+膳セット商品の恒常的な販売（2旅館）	◇「健康＝低カロリー」という意識の改革、お客様に向けた効果的な情報発信 ◇「ヘルスツーリズム認証」を基にした定期的な品質管理 ◇新規事業者の掘り起こし	クアオルト推進室 農業夢づくり課 観光課 観光物産協会 温泉旅館
4 新商品の開発											
(1) 6次産業化の推進及び商品開発に向けた産学官金の連携構築	◇農産加工等実践者のPR（実践事例調査） ◇異業種交流会（生産農家、食品製造業、学校等）の開催、産学官意見交換会、関係者間定例ワーキングの開催 ◇成分分析等による魅力の再発見	◇農産加工等の研修会への参加呼びかけ ◇農産物コーディネーターの配置					ブランド化推進事業費 9,689千円	○	◇新商品開発5件 ◇6次化取組者の事例発表及び研修会開催 ◇6次化研修会への参加の呼びかけ	◇6次化の新規取組者の発掘及びフォローの継続 ◇開発商品の販路拡大	農業夢づくり課 観光課
(2) 商品の開発促進	◇クアオルト商品の承認基準を定め、地元農産物を活用した商品開発を促進 ◇明新館高校生生徒のスイーツメニューアイデア募集	承認基準の設定と周知により、商品の開発促進						×	クアオルト商品の承認基準を検討したものの、クアオルト自体の認知度・ブランド力不足により、それに基づく地元農産物を活用した商品開発は未実施	クアオルトの認知度・ブランド力向上による商品開発の機運醸成が必要	商工課 農業夢づくり課
(3) 商品発表会の開催	◇各種イベント等での商品発表会 ◇プレスリリースの実施、HPや市報での紹介、パンフレットの作成等 ◇クアオルト認定の新商品を取り扱う小売店や食品製造業者等をPR	PR事業の実施						×	商品開発を進められなかったため、商品発表会やPRは未実施	クアオルトの認知度・ブランド力向上による商品開発の機運醸成が必要	商工課 農業夢づくり課
(4) クアオルト弁当の充実	各種イベント開催時の販売、活用	新規参加事業者の掘り起こし						○	◇新規参加事業者の掘り起こし、管理栄養士が監修した食事メニューを開発（1店舗） ◇宿泊型新保健指導事業の実施による（9ツアー開催）、管理栄養士が監修したカロリー・塩分に配慮した食事メニューを開発・提供 ◇ウォーキングイベント等における積極活用 ◇企業・事業所の栄養教室などにおける活用	◇「健康＝低カロリー」という意識の改革、お客様に向けた効果的な情報発信 ◇「ヘルスツーリズム認証」を基にした定期的な品質管理 ◇新規事業者の掘り起こし	クアオルト推進室 農業夢づくり課
5 かみのやまワインの郷プロジェクト							かみのやまワインによる 地域振興事業費 30,100千円				

(1) ワインぶどう生産振興	<ul style="list-style-type: none"> ◇園地整備・拡大への支援 ◇ワンストップ窓口の設置 ◇産地優位性の検証 	<ul style="list-style-type: none"> ◇園地整備・拡大のためのオーダーメイド型支援 ◇畑探しのための一括相談窓口（ワンストップ）設置 ◇山形大学と連携した、ぶどう栽培適地としての検証 						○	園地整備12.6ha（うち新規約2.3ha）	<ul style="list-style-type: none"> ◇就農者の技術習得や経営安定のためのスキームづくり ◇高齢農業者の畑をスムーズに継承する対策を検討 ◇ぶどう栽培適地の検証の継続 	農業夢づくり課
(2) ワイン醸造量の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ◇ワイナリー誘致の推進 ◇ワイナリー創設者の掘り起こし ◇ワンストップ窓口の設置 ◇既存ワイナリーの設備整備への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ◇大手ワイナリーへの市内進出誘致 ◇ワイン特区を活用しながら、ワインぶどうセミナー等を実施する中でのワイナリー創設者の掘り起こし ◇既存ワイナリーの設備整備への支援 						○	<ul style="list-style-type: none"> ◇ワインぶどうセミナー開催（5回/149人） ◇ワンストップ窓口誘導案件19件 ◇農業人フェアへの出展（東京、仙台） 	<ul style="list-style-type: none"> ◇就農、ワイナリー創業に向けたフォローを継続 ◇新規案件の発掘 	農業夢づくり課
(3) ワイン消費の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ◇オリジナルワイン醸造 ◇各種イベント等でのかみのやまワインのPR ◇PR用ツールの作成 ◇ワインツーリズムの推進 	<ul style="list-style-type: none"> ◇オリジナルワイン醸造 ◇ワインツーリズムの企画開催 ◇映像資料を活用したPR実施 ◇市内飲食店組合に対する「かみのやまワインの郷」啓発活動 						○	<ul style="list-style-type: none"> ◇オリジナルワインの開発 ◇PRツールの作成（貸出用DVD作成含） ◇県内外でのかみのやまワインのPR ◇市報への定期掲載 ◇飲食店組合に働き掛け、イベントでのBYOの実施や、ワインバルでのチラシ配布による誘客の取組を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ◇当プロジェクトの認知度向上のため、地域限定ワイン「かみのやまテロワール」の開発製造 ◇プロモーション素材の活用と積極的なPR ◇ワインツーリズムの実施 ◇引き続き飲食店組合にBYOの実施など、ワインの消費拡大につながる取組実施を働き掛ける。また、販売店や旅館等と連携したワインの消費拡大キャンペーン等の取組について検討 	農業夢づくり課 観光課 商工課